

瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第5報 ～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成14年4月30日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。前部に2本の触角がある。

コメント

淡水赤潮の原因となるウログレナは9群体/mlと前回よりも減少した。今回も、全細菌数および無色鞭毛虫数を測定したところ、全細菌数は 1.04×10^7 cells/mlと前回より増加したが、引き続き低く、無色鞭毛虫数は 3.9×10^2 cells/mlと南湖としては低い方であった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	480

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Vorticella</i> sp.	380

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成14年4月30日

第5報

(2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	2300		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion cylindricum</i>	10		
(黄鞭) <i>Pseudopedinella</i> sp.	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	33		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	19		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	20		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	53		
(珪) <i>Synedra acus</i>	25		
(珪) <i>Acnanthes minutissima</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia holsatica</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	10		
(渦) <i>Gymnodinium helveticum</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	180		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	440		
(緑) <i>Golenkinia radiata</i>	60		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	30		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	26		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	98		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	3		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	2320	68.7	19.3
(珪) 珪藻綱	190	5.6	5.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	30	0.9	6.7
(褐) 褐色鞭毛藻綱	620	18.4	12.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	217	6.4	55.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細胞 数	3377	総体積	3.08E+06
種 類 数	20	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)

ただし*印の種は群体数(群体 / ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。